

理事長・学校長 殿

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
理事長 中村 徹公
印
省
略

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
令和8年度 中堅教職員研修会
「新任指導力（メンタリング）」
「学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）」
「能動的学修（職業人としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの体験学習）」
「体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）」
開催のご案内

平素より本財団事業に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本財団では、専修学校制度発足以来、独自のカリキュラムに基づき「新任教員研修」を実施し、専修学校における新任教職員の資質向上に努めて参りました。

また、平成24年度より、文部科学省の教育研修活動費補助事業の一環として、「中堅教職員研修カリキュラム」の研究・開発を進めております。これは、新任教員研修カリキュラム修了程度の能力を有する方等を対象に、専修学校教育において、後進の指導等を含め、専修学校教育の振興に尽力することが期待される中核的・専門的な役割を担う中堅教職員の育成を目的としたものです（カリキュラムの考え方及び構成に関しましては、7ページをご参照ください）。今年度は中堅教職員研修会全8科目のうち、以下の4科目を開催します。

- 「新任指導力（メンタリング）」：7/30-7/31
- 「学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）」：8/6-8/7
- 「能動的学修（職業人としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの体験学習）」8/27-8/28
- [※]「体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）」：8/31

※1体系的カリキュラム・シラバス作成は、事前にオンデマンド学習（5時間分）を受講した上で、8月31日オンライン7時間の受講が必要となります。

オンデマンド学習用のログインID等はオンライン開催の約2週間前を目途にご案内いたします。

各科目の詳細については3～6ページをご参照いただき、参加を希望される方は2ページの申込方法に則りお手続きをお願いいたします。

各科目ともお申込み期間は令和8年6月15日（月）10時00分より開始～7月2日（木）までといたします。

※ただし、定員になり次第、締め切りとさせていただきます、当財団ホームページ上でお知らせいたします。

※すべての科目にグループワークがありますので、積極的にご参加ください。

[お問い合わせ]

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団<略称：TCE財団>

(Association for Technical and Career Education)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館

TEL：03(3230)4814 FAX：03(3230)2688

令和8年度 中堅教職員研修会 実施要項

【主催】 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE 財団）

【科目名】 ○「新任指導力（メンタリング）」
○「学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）」
○「能動的学修（職業人としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの体験学習）」
○「体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）」
各科目の日程等の詳細については、3～6 ページをご確認ください。

【対象】 現在専修学校にご所属の中堅教職員（目安：勤続5年程度以上）

【申込期日】 各科目ともお申込み期間は令和8年6月15日（月）10時00分より開始～7月2日（木）までといたします。
※ただし、定員になり次第、締め切りとさせて頂き、当財団ホームページ上でお知らせいたします。

【申込方法】 各科目のお申込みはすべて、下記 URL または QR コードより、Google フォームからお申し込みください。

URL: <https://forms.gle/Pmu9iGKF8nB7x6aa9>



【お振込先】 受講料はお申込みいただいた学校名にて、各科目の受講初日までに下記口座にお振込みください。
各科目の受講金額につきましては、3～6 ページをご確認ください。

お振込先

みずほ銀行 九段支店（普通）2386904
一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
（振込手数料は貴校にてご負担ください）

※研修会当日の現金の受け渡しはご容赦ください。
※同一の学校や法人から受講者が複数名いる場合、受講料を合算してお振込みいただけます。
※受講料の返金は致しかねます。ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願いします。
※会員区分によって受講金額が異なります。開催案内が学校様へ書面で届いている場合、貴校は会員校です。

【修了基準】 各科目所定の研修時間を全て受講された方に、本財団より「修了証」を発行いたします。
教員の方々だけでなく、職員の方々もぜひご参加ください。

新任指導力（メンタリング）

【内容・目的】

新任指導能力「新任教職員の指導・育成力を高める」ことを目標とする。中堅教職員（管理職）にとっての役割とは何かを知り、新任（部下）の指導育成のための目標管理や新任（部下）の能力・メンバーシップを引き出すための適切な指導助言ができるようになることを目指す。

具体的には、新任指導育成のための目標管理力／新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつけることを目指す。

【定 員】 24名

【日 時】 令和8年7月30日（木）13:00～18:00
31日（金） 9:00～17:00（計12時間/2日間）

※2日目の12:00～13:00は昼休み。昼食は各自でお取りください。

【会 場】 東京・アルカディア市ヶ谷・6階 伊吹
(東京都千代田区九段北4-2-25/JR市ヶ谷駅 徒歩2分)

【受講料】 TCE財団の都道府県支部の会員校 1名 13,500円
上記以外 1名 27,000円

【講師】 オフィス f e m .
代表取締役 梅野 文子 氏

【お申込後の流れ】

事務局より事務連絡と事前課題をメールでお送りします。事務連絡をご確認いただき、事前課題にご記入の上、研修会当日にご持参してご来場ください。

【タイムテーブル】

予定時間	予定内容
- 1日目 - 12:45 13:00	受付 ○ メンタリングとは? ○ メンターに求められるもの ○ メンターの在り方 ○ メンタリングの4つの基本的技術
18:00	1日目終了
- 2日目 - 9:00	○ 1日目の振り返り ○ 総合演習 ○ 今回の学びを新任指導で生かすために
17:00	閉会

※タイムテーブルは事情により変更になる場合があります。

学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）

【内容・目的】

これまでの教科担当、クラス指導の経験を振り返り、自分の強みと弱みを再確認し、今後学校の中核として業務を遂行できる人材になることを目標とする。

そのために学生に対する「全体指導」「個別指導」の手法を棚卸しして、学生への効果的な動機付けの手法や、所属する学科の運営方法を学ぶ。

具体的には、小学校・中学校・高等学校の各学校現場で、クラス運営を効果的に行うための手法の一つとして「Q-Uアセスメント」というものが活用されている。Q-Uは、教職員が「①生徒個々の実態」「②学級集団の状態」「③個人と学級集団との関係」を十分に把握し、実態に応じた教育活動が展開できるように、その一助となることを目指したものである。近年、このQ-Uの専門学校版が開発され、実際に専門学校の現場でクラス運営の改善等に活用され、学生の「対人関係形成能力」や「社会形成能力」を育成する上で教育効果を上げている事例もある。本科目では、Q-Uの意義や理論、そして実践方法を学び、学生に対する教職員個々の指導力を向上させるとともに、校内での教職員間の連携を強化し、より効果的なクラス・学科運営が行えるようになることをねらいとする。

【定員】 24名

【日時】 令和8年8月 6日（木） 13:00～18:00

7日（金） 9:00～17:00（計12時間/2日間）

※2日目は、12:00～13:00は昼休み。昼食は各自でお取りください。

【会場】 東京・アルカディア市ヶ谷・5階 穂高・半室

（東京都千代田区九段北4-2-25/JR市ヶ谷駅 徒歩2分）

【受講料】 TCE財団の都道府県支部の会員校 1名 13,500円

上記以外 1名 27,000円

【講師】 NPO日本教育カウンセラー協会 理事 藤川 章 氏

【お申込後の流れ】

事務局より事務連絡をメールでお送りします。事務連絡をご確認の上、研修会当日ご来場ください。

【タイムテーブル】

予定時間	予定内容
-1日目- 12:45 13:00	受付 ○ 学級経営とは ・学級経営とは ・Q-Uを活用した学級の分析と対応法 ・アドラー心理学から
18:00	○ 人間関係作り 1日終了
-2日目- 9:00	○ 人間関係作り ○ 個別カウンセリング ・自己理解を深める（エゴグラム・やりとり分析） ・カウンセリングの基本5法 ・ロールプレイングの実際
17:00	○ 事例研究 ・事例研究の意義とその方法 ・事例研究の実際 閉会

※タイムテーブルは事情により変更になる場合があります。

能動的学修（職業人としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの体験学習）

【内容・目的】

アクティブ・ラーニングが必要だ、と言われたことがあると思います。なぜアクティブ・ラーニングが必要なのでしょう。また、アクティブ・ラーニングとは、そもそもどのような学び方なのでしょう。

本科目では、アクティブ・ラーニングが必要とされる背景と考え方について学びます。人が学ぶプロセスを「学習サイクル」から考え、具体的な日々の授業で何に気をつけて授業をデザインすれば、より深く、学びを促進できるかを具体的な個々の授業実践の中で検討します。

本科目自体をアクティブ・ラーニング形式で、授業で使えそうなツールやテクニックを織り交ぜて実施します。これらを通して、「明日からアクティブ・ラーニング型授業をやってみよう」と思えることを目指します。

【定 員】 24名

【日 時】 令和8年8月27日（木） 13:00～18:00

8月28日（金） 9:00～17:00（計12時間／2日間）

※2日目うち1時間は昼休み（昼食は各自でお取りください）

【会 場】 アルカディア市ヶ谷・6階 伊吹

（東京都千代田区九段北4-2-25／JR市ヶ谷駅 徒歩2分）

【受講料】 TCE財団の都道府県支部の会員校 1名 13,500円

上記以外 1名 27,000円

【講師】 京都大学 教育学研究科 教授 田口 真奈 氏

【お申込後の流れ】

事務局より事務連絡と事前課題をメールでお送りします。事務連絡をご確認いただき、事前課題にご記入の上、研修会当日にご持参してご来場ください。

【タイムテーブル】 ※グループワークを含めた演習を中心とした科目となります。

予定時間	予定内容
-1日目-	
12:45	受付
13:00	開講
	○ アクティブ・ラーニングとは何か
	○ アクティブ・ラーニングを促す授業デザイン
	○ 学習評価の基礎
18:00	終了
-2日目-	
9:00	再開
	○アクティブ・ラーニング型授業への「リ・デザイン」
	○マイクロティーチング
	○振り返り
17:00	閉会

※タイムテーブルは事情により変更になる場合があります。上記のタイムテーブルは前回実施時のものです。

体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）

【内容・目的】

より学生に分かりやすく効率的に学べるカリキュラム・シラバスを作成する手法としてインストラクショナル・デザイン（ID）がある。このIDとは何かを学び、これを用いてカリキュラム・シラバスを設計・開発できるようになるのが本科目の目標である。

【定 員】 24名

【日 時】 令和8年8月31日（月）9：00～17：00（計7時間）※1時間は昼休み。

なお、事前に5時間分のオンデマンド学習をご案内しますので、上記研修会ご受講前に、各自ご視聴ください。

【開催形式】 オンライン

【受講料】 TCE財団の都道府県支部の会員校 1名 13,500円

上記以外 1名 27,000円

※別途、教材購入費がかかります。

【講師】 株式会社ウチダ人材開発センタ

事業推進 ラーニング推進部 インストラクション課

課長 日暮 薫 氏

【お申込後の流れ】

事務局より事務連絡をメールでお送りします。教材（稲垣忠・鈴木克明著『授業設計マニュアル Ver.2：教師のためのインストラクショナルデザイン』北大路書房）を購入しご一読ください。また、オンデマンド学習（5時間分）と8月31日催のオンライン（5時間）についての詳細も事務連絡でご案内いたしますのでご確認ください。

【タイムテーブル】

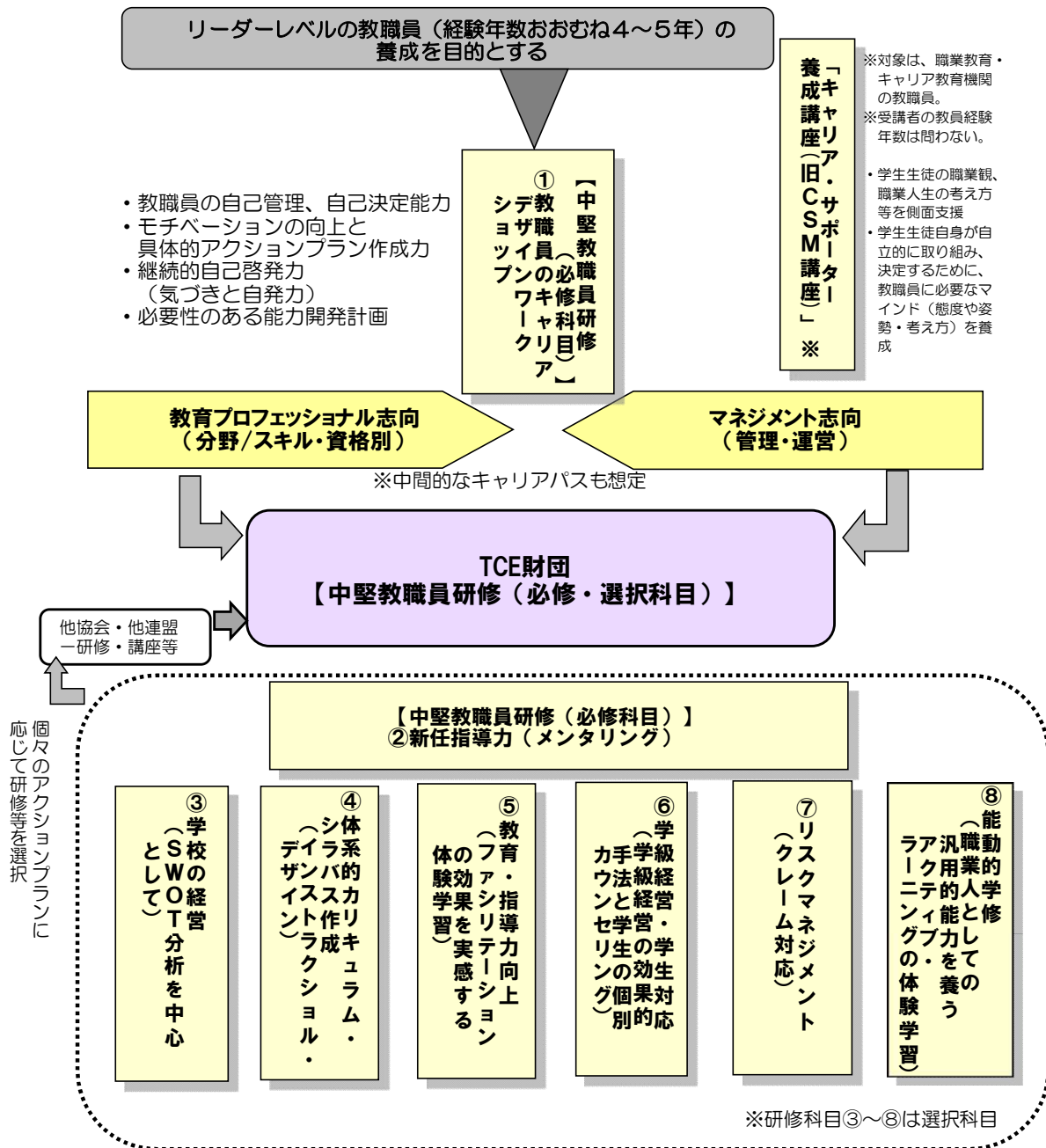
予定時間	予定内容
-オンデマンド- ※5時間分を事前 にご受講ください	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリエンテーション ○ 事前テスト ○ インストラクショナルデザインの概要と必要性 ○ 学習目標の明確化 ○ 課題分析 ○ シラバスの作成 ○ コマシラバス（授業計画）の作成
-8月31日- (オンライン) 8：45 9：00	受付 開講 <ul style="list-style-type: none"> ○ 理論編の復習、質問 ○ 作成物の共有とグループワーク ○ まとめ・質疑応答 ○ 事後テスト
17：00	閉会

※タイムテーブルは事情により変更なる場合があります。

TCE財団 中堅教職員研修 カリキュラムの内容

考え方と構成

- 中堅教職員研修は、「①教職員のキャリアデザインワークショップ（必修科目）」をベースとして、キャリアビジョン及び自ら作成するアクションプランに基づくコアとなる研修科目②～⑧（必修＝②・選択必修＝③～⑧）を用意。
- ①～⑧の8科目以外に、他の団体・組織主催の研修を含め、各教員のキャリア・就業年数等に応じた研修の受講（継続的能力開発）を奨励する。



※カリキュラム構成図は令和6年度のものです。

7科目受講された方への研修成果のインタビュー

中堅教員研修会全7科目（平成29年度時点）を修了された4名に対し、研修成果のインタビューを行った。4名のプロフィール概要は以下のとおり。

修了者	学校分野	性別	年齢	学校勤続年数
A	商業実務	男	48	3年
B	医療	男	43	7年
C	医療	女	38	10年
D	医療	男	38	7年

～気付きと行動変化はありましたか？～

- 学校全体のことや若手職員の育成という点について、受講前よりも意識して行動するようになりました。特に「考えるだけでなく行動する」ということをモットーにし、若手職員のお手本となることはもちろんですが、ベテラン職員の方々からも信頼されるように行動しています。
- 教員としての職務（教育）だけでなく、教員としてどのようなキャリアを歩んでいくかを考える契機となりました。また、自身が与えられた職務をどのような考えで進めて行くかを多元的に考えられるようになりました。
- まず、授業内のグループワークや、個人で参加する研修においては「ファシリテーション」を意識します。また、受講させていただきました「インストラクショナルデザイン」は、次年度のシラバス提出時に生かして見直しを考えております。また、私は防火管理者であることもあり、「リスクマネジメント」について意識することも、同僚に伝える機会も多いように感じます。その他の教科につきましても、テキストを見直したり、用語の確認を行ったりする機会があります。意識面では「キャリアデザインワークショップ」で感じた自身の決意を思い起こすこともあり、貴重な機会であったと認識しております。しかし、日常の雑事に取り紛れて希薄になる瞬間や、浅い知識にとどまり定着していないもどかしさを感じることもありますので継続学習の機会をいただきたいと思います。
- 教職員の面談の際に、今まで以上に「質問・傾聴・観察・伝達」を意識して行うよう、努めてきました。また、質問や伝達といったこちらから発する内容も本研修で学んだものから相談内容に適したものを抽出するように努めました。相手の立場を考慮した上で発言し、相手に答えを導き出させるような対応を自然にできてきたと思っています。個人的には、仕事全体の視野が広がり、専門学校の教職員としての在り方がおぼろげながらも見えてきたような感覚でいます。

～今後、中堅教職員研修会を受講される方へのメッセージ～

- 理解しやすいプログラムもあれば、なかなかすぐには理解できないものもあると思いますが、必ず役に立つ時が来ると信じて受講してほしいと思います。また、様々な専門学校の先生方と交流することで、悩みを共有したり解決の糸口を見出すことができたり、それだけでも研修に参加して良かったと思うことができます。壁にぶつかって悩んでいる方やスキルアップを目指す方にはとてもすばらしいプログラムになっていると思います。ぜひ全てのプログラムのコンプリートを目指して頑張ってください。
- 中堅教員研修は間違いなく大きな収穫を得られる講座となります。一つ一つを大切に受講されることで確実に成長していけると思います。
- 全ての研修を受講して思うことは、どの専門学校でも抱える問題点・課題点を冷静に振り返り分析できる機会をいただいたのだなということです。研修は元より他校の先生方と利害関係なく率直に意見や情報の交換ができたことも大変有意義でした。